

# ハスの実がより

社会福祉法人  
ハスの実の家  
**4月号**  
2020年・No.467

〒910-4103 福井県あわら市二面87-26-2 TEL (0776)78-6743 FAX (0776)78-6744 Eメール honbu@hasunominoie.com



さ  
さ  
い  
く  
た  
ら  
よ  
ら  
が

主な記事

- 2 ★すくらむ
- 3 ★なかまのページ
- 4～5 ★特集記事:若者たちの胸中
- 6 ★家族のページ
- 7 ★職員のページ 野田 真士  
山田 有香
- 8 ★交差点
- 9 ★今月のにやりホッと ハスの実発信
- 10 ★ムーブ
- 11 ★物品深謝 ★ご寄付深謝
- ★新職員紹介 ★退職のお知らせ
- 12 ★クイズ ★あとがき





# あくらむ



五〇周年記念事業で刊行した『原点帰郷』の中で、「一〇〇周年を視野に入れて『人間力(知恵)』と『組織力(体力)』を育てることが必要」と記しました。その後、「体力」が切り崩されそうな厳しい情勢の中で、「知恵」を実践につなげる方策として『三・三方式(全ての課題や方針を三項目に整理して共有する)』を提案してきました。来年の春には五五周年記念の『実践報告会十次期五力年計画発表会』としてその成果を公表したいと考えています。

私自身についていえば、「体力」には自信があるとはいえ「逝去」報道が気になる年齢となりました。ここでは、昨年お亡くなりになった三人の先達をとりあげ、「知恵」として受け継ぐべきことを『三・三方式』で整理して哀悼の意を表したいと思えます。

## 野村克也監督の言葉

一九三五年生まれで、長嶋・王の「ひまわり」に対して「月見草」と自認しつつ、①選手として、②監督として、③解説者として、「自分らしさ」を貫いたプロ野球人です。

人生の目標について「①財を遺すは下、②仕事を遺すは中、③人を遺すは上とする」とし、多くのプロ野球選手を育て上げただけでなく、マスコミ報道や著作をとおして語られた数々の言葉(名言やぼやき)が多くの人々を励まし勇気づけました。

例えば「選手の育成は、個々の可能性を、①みつける、②育てる、③生かす」であり、それに続けて「『感じる力』を持っていないければ『見つける』ことができない」と言及しています。キツイ発言としては「生意気なことを言うようですが『人間、三人の友をもて』と言うじやないですか。①原理原則を教えてください、②師と仰ぐ人、③直言してくれる人、オーナーには直言してくれる人がいない

んじゃないですか」があります。

## 中村哲医師の言葉

一九四六年生まれの医師。一九八四年以来、政情不安のアフガニスタンで、医療活動とともに住民を指導して水路建設を推進するなど、①医師、②土木技師、③開拓者、として地域の風土に根差した人道支援を展開のさ中、昨年一二月に銃撃被害されました。

現地での行動理念を「①天の時、②地の利、③人の和」(自然条件をよく理解し、地域の

## 三人の先達の言葉 — 創立55周年を 迎えるにあたって —

ハスの実の家庭理事 櫻井康宏

文化を尊重し、人々が和して協力すること)と表現し、活動を日本で支える「ペシャワール会」の理念を問われて「冗談の通じる者には①無思想、②無節操、③無駄」の三無主義であるとケムにまく」と答えています。この裏には「国際協力」なるものの現実(万事を自分のものさしで裁断する)に対する鋭い批判的認識があります。

そして、この批判的認識は世界の「近代化」に向けられ、「生半可な国際化や近代化より

も、そしてカネを転がして食ってゆくよりも、鎖国でもして自らの労働で得た米と魚で食ってゆくほうがまだましである」とした上で、「日本やベトナムが自分を近代化することで外圧に対抗し、やがては自らも『近代化』の重圧に悩むという構図はここ(引用者注:自ら関わる支援地域)には見られない」と述べている点が注目されます。

## 小西行郎先生の言葉

脳科学・発達行動学を専門とする小児科医師。福井医科大学在職中に「ハスの実」の理事としてご貢献いただいたばかりでなく、夫人の薫先生(小児神経科医師)ともども多くの仲間と家族がご指導いただきました。

この機会に何冊かの書物を拝読いたしました。そこには、「子どもを『そのままの姿でみる』ことの大切さに気づいてから、研究や育児外来で子どもと接することが本当に楽しくなりました」という基本姿勢を土台とし、「科学の未熟さ(分かっていないことの少なさや曖昧さ)」をも科学的に乗り越えるべく大小さまざまの『仮説(考え方)』が溢れています。一つだけ例示すれば「胎児期に生じる脳、運動、知覚の異常が、新生児期以降にコミュニケーションの障害を引き起こし、本格的な集団生活が始まる幼児期になって社会性の問題に発展する」という『仮説(引用者注:三段階構造の仮説)』です。

日本赤ちゃん学会の創設者・理事長など、そのご活躍は、①医師、②大学人、③啓発者、として実に幅広いものですが、そこには「教育の『方法』ばかりがとやかくいわれ、その『目的』についての議論がないことが、現代日本の決定的で最大の問題である」という、やはり「近代化」に関わる問題意識があることを同年齢(一九四七年生まれ)の者として肝に銘じておきたいと思えます。



# はたらく～就労事業～



おいしいおかしを  
つくってみんなを  
笑顔に  
しますよーん



今年1年  
みんなの力を合わせて  
野菜作るぞ



のうごほん



おいしいパンを  
作ってがんばって  
います。

パン工房





# の胸中

働くということは、  
問い続ける  
ということ!



【共同生活援助事業 ステップハウス生活支援員】  
阿部 晃 三

## ～ある一日の勤務内容～

時間	内容
12:00	出勤（わくわくセンター）
13:00 14:00	食事介助、お仕事や余暇活動を一緒に行う
15:00	休憩
16:00	ホーム入り・仲間受け入れ・引継ぎなど
17:00	仲間と過ごす
18:00	夕食
19:00	入浴介助
20:00 21:00	仲間と過ごす
22:00 0:00	実務
〃	仮眠
2:00	夜間見回り
〃	仮眠
5:00	起床
6:00	仲間の整容整え
7:00	朝食
8:00	仲間送り出し
9:00	掃除・記録など
10:00	退勤

勤務を初めて 5 年目の春を迎えます。

私は、暮らしの場で勤務しています。暮らしの場では仲間達の「できた!」「楽しい」という経験をたくさんできるように意識し、それをみんなで「できたね」「楽しいね」と共感できたらいいなと思います。そんな支援を叶えるにはまだまだ力が足りないな…と思うことばかりです。

この仕事は正直悩まされることが多いです。仲間との関わりがうまくいくときもあれば失敗するときもあります。支援の中には正解などはなく、仲間達一人一人、個性が全く違います。簡単に思えることでも、障害がゆえにいろんな困難さを抱えている仲間達。支援の中では、常に「なんで」を考えながら「こうしたらどうだろう」と色々な支援を考えます。時には職員集団の中で、何度も何度も議論を重ね、良い方向へ、良い方向へと一歩ずつ前に進んでいき、それが実ったときは一緒に喜びを分かち合えるそんな職場だからこそ楽しく働くことができ、私は悩まされながらも、そうした「なんで」を、問い続けることそのものにやりがいを感じています。その過程の中で、自分自身が大きく成長でき、仲間の成長も見届けられたからです。

この先も、自分の仕事に誇りを持ちつつ、昨日よりも今日、今日よりも明日と、向上心を持ちながら仲間達の生活に寄り添っていきたいです。

# 若者たち

働くということは、  
人と人が  
つながること!



【地域生活支援 相談支援事業所 相談員】  
畑 亮 輔

～ある一日の勤務内容～

時間	内容
AM	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼</li> <li>・個別面談</li> <li>・事業所訪問</li> <li>・行政へ書類提出</li> <li>・緊急の個別対応</li> </ul>
休憩	45 分
PM	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別のサービス調整会議</li> <li>・電話での会議調整</li> <li>・書類の作成</li> <li>・面談記録まとめ</li> </ul> <p>※仕事内容等、時間は変動することがあります。</p>

ハスの実の家に就職して 4 年目になります。

私は、仲間の願いや困っていること、地域で生きづらさを感じている方たちの課題解決に向けて働いています。「あしたい、こうなりたい」「こんな生活をしてみたい」という仲間の願いや話を聴き、今よりももっと暮らしやすい生活になるようなお手伝いをしています。

なかなか言葉で表現してもイメージがしづらく、目に見える成果や結果が結びつきにくい仕事だと思います。ですが、仲間の願いに応えられるように他職種、他事業所の人たちと一緒に考え、目標に向けて協議していく中で「その人らしさ」の発見や少しでも... 今よりも... 一歩でも生活しやすい環境になったと感じられる仲間の笑顔や表情が私のやりがいでもあります。

自分の想いを伝えて実現する、夢が叶う。時には、難しく下を向いてしまう。そんな誰しもが持っている当たり前の夢、願いの実現に向けて「仲間とともに」これからも 1 人ひとりの暮らしやすい生活になるように歩んでいきたいと思っています。

色々な人たちと出会い、たくさんの考えや思いを知り、みんなで考え、障害のある人もない人も暮らしやすい社会になるよう寄り添っていきたいと思っています。



# 家族のページ

## ～仲間への想い～



最近の諒平さん

市橋由紀恵さん  
(諒平さんの母)

『頑張れ諒平!』



今から回想

お母さんより

リサイクル班でお世話になっております市橋諒平です。  
今年の4月で27歳になります。先天性サイトメガロウィルス感染で高度難聴、知的障がいを持っている諒平です。  
幼少時は、近隣の三国運動公園保育所と鷹巣ひかり保育園を併用していました。

ひかり保育園では近くの山を散歩コースにして山道を歩いたり、園内の築山を活用して土まみれになりながらも、外での遊びを重視した内容でした。

学校生活では、知的を優先する意味で嶺北養護を勧められましたが、聞こえない事でのコミュニケーションの難しさから、聾学校へ誘いを掛けて頂ける先生との出逢いもあり、転入が叶いました。校外学習では、複数の先生から「諒ちゃん、〇〇買ってきて!」とお願ひされ、近くの店舗に買い出しに行くという日常に繋がる体験もさせてもらえました。また聾学校では寄宿舎も併設されており、複数の名の仲間と生活を共にしていました。

今のハスの実の生活にも似ており、週末のお迎えを玄関で待っていた諒平を思い出します。これらいろいろな面で、小・中・高共に学校ではお世話になったと感じます。

現在のハスの実では、「リサイクル班」なので、空き缶潰しに頑張っているわけですが、やや単調な作業は苦手かと思う

ので、気持ちが悪そに在りながら作業している姿も想像したりします。『頑張れ、諒平!』

自宅では、やはりオフモード。ipad: Youtubeでお気に入りの「電車」「ジェットコースター」などの動画を食い入るように見えています。(動かない分、お腹が出てくるぞ)

最近2年ぶりに犬を飼い始めたので、今後は公園とかの散歩に出掛けようと思います。

昨今でも障がい者に関わる事件や事故のニュースが取りざたされ、将来の事を思うと切なくなる時があります。皆が平穩に生活出来る社会であって欲しいと願います。

諒平の場合は聴こえなくても、話せなくても、自分の表情や身振り、指差し、手話などあらゆる手段で、「好きなもの」「嫌いなもの」「行きたい場所」を本人が表現出来、またそれを受け止めて頂ける環境がハスの実にはあると信じています。

これからも仲間や職員の皆様、今後とも何卒宜しくお願い致します。



幼い頃の諒平さん



## 職員のページ

【所属】 ステップハウス  
生活支援員

野田 真士



こんにちは、野田です。

出身は富山県で、進学のために 2008 年に福井にやって来ました。まちなか世話人を約 10 年勤めてから、2019 年の 5 月に入職、ステップハウスに異動してからもうすぐ 1 年が経ちます。ハスの実の家との関わりは割と長いですが、いざ現場で働くと困惑することばかりで、先輩職員の方々にご指導いただきながら日々奮闘しています。

趣味は読書です。新書、小説など手軽に読める本が好きです。数年前に私が職員紹介のページに載ったときに、好きな作家の 1 人に有川浩を挙げたら、とある職員の方が「私も好き！」と声をかけてくださいました。残念ながらその職員さんは今はもう退職されてしまいましたが、またこのページがきっかけで輪が広がると嬉しいです。ライトノベル作家でもあるので、読みやすいですよ。オススメは、『県庁おもてなし課』『植物図鑑』『海の底』など。

【所属】 ハスの実パン工房  
職業指導員

山田 有香



私がハスの実の家の職員として、ハスの実パン工房で働くようになって三年目になります。

パンに携わる職に就きたくてハスの実パン工房を希望しました。実際はパンの仕事よりも仲間との関わりの方が多いのですが、大好きなパンの仕事に加え、仲間の頑張っている姿、仲間の成長を日々見る事が出来たり、共に喜べる今の仕事にはとてもやりがいを感じており、大変ながらも毎日楽しく仕事をさせてもらっています。

幸運にもたくさんの先輩職員の方々に仕事面や仲間のことを相談に乗ってもらったり、アドバイスを頂けるので、自分自身も成長してこれたのではないかと思います。

どこに出しても恥ずかしくない自慢のハスの実パン工房のパンをもっともっと広めていき、たくさんの人に食べてもらうことが今の私の夢であり目標です。仲間や職員一丸となって目標に向かい日々の仕事に取り組んでいきたいと思っています。

# 交差点

## お知らせ

4月12日（日）に開催を予定しておりました今年度のハスの実の会（後援会）の総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため多数の人が集まることを避け、ハスの実の家の家族会と職員、後援会運営委員の会員の方に総会資料を配布し、書面により表決をいただくこととしました。総会結果については、改めてお知らせします。

## 継続会員・新入会員お名前

### 2・3月度

\*印は新入会員です。順不同、敬称略。

あわら市 川崎弘晃・川崎恵子・川崎旨乃布・細川治夫・多幡順子・渡辺久・橋本都佳・中谷ふみ子・松岡飛鳥・土橋紀代子・青木なおみ・ひまわり会 代表細川孝子・北島小夜子・西山嘉浩・美濃達也・金本春泰・橋本裕美子・宮崎美枝・丸山知枝・荒谷あゆみ・西井里美・橋高幾子・阿部晃三・河野美枝子・美濃麻佑・\*福田香奈・\*勝木雅子・\*金沢慶浩・\*早野梓・\*野尻翔太

坂井市 山東孝子・田島利之・細川幸子・小玉忠子・出蔵早苗・前田かおる・前田徹・藤井ヨシ子・山本照美・十佐近さおり・岡部政江・林優子・高嶋栄子・神浦かおり・辻ゆり子・木村牧子・古川真澄・大草基江・西洋子・荒野文男・吉江峯子・畑中豊子・黒川修一・徳田直美・田嶋健太郎・吉澤典代・塚谷晴美・竹内正浩・林祐賢・酒井英子・安達美佐子・荒川芳雄・増永尚子・橋本真吾・東昂介・辻克佳・坪内恵・白崎美樹・白崎慶彦・山田有香・東夕香・篠塚美幸・八木穂衣・荒野佐都美・富澤小百合・黒川紗津貴・畑亮輔・\*富田絹江・\*見神正美・\*畑数尋・\*(株)ジョイベ・\*中谷祐斗・\*三国観光ホテル

福井市 大門動物病院・石黒弘基・松下圭介・市川節子・畑中厨房株式会社・笈田敏文・株式会社トヨタレンタリース福井 小林靖典・北尾友和・(株)西村合金工業所・辻絹江・\*フェリーチェ・\*レストランミー・(株)サブラ福井営業所・落谷義行・片矢春美・下田祥代・神田芳明・塩田照子・辻知代子・藤木裕美・平田稲子・村田文彦・富樫清則・平野治和・野田真士・坪田敏郎・合同設備工業株式会社・佐々木淑乃・清水真由美・白谷妙子・東田耕・木村知子・植原哲平・菅原亜希子・川端幸代・上坂均・南美由紀・中村千草・大橋達哉・\*竹原由紀

越前市 玉村義雄・具谷裕司  
 鯖江市 橘英亜機・竹内啓子・谷口昌清・近藤弥生  
 大野市 宮下真一  
 敦賀市 平川純子  
 南越前町 木村唯雄  
 越前町 三上佐季子  
 永平寺町 堅達千賀乃・\*酒井隆樹  
 石川県 河地直人・上出美智代・濱口隆弘・日詰千草・濱口真弓・佐分利千賀子・上出日出幾  
 愛知町 鈴木峯保・米津直希  
 京都府 瀬尾真司  
 岐阜県 別府哲  
 滋賀県 小林桂子  
 兵庫県 齊藤淳子・宮地俊輔・宮地絵里  
 神奈川県 野口直人  
 東京都 林光二・白崎国際特許事務所





# 今月のにやりホッと

"僕が作っています。美味しいですよ!!"



あんぱんのこしあんは、  
【生あん】から  
『美味しくな一れ』と  
心を込めて作っています。

私がポップに使うパンの写真を撮っていたら、「僕も写真撮ってー」と俊秋さん。「なんでー」と尋ねると、「今からあんこを炊くから頑張って炊いている僕を写してほしい」「販売に行った時、お客さんに僕の写真を見せて、僕があんこを炊いているから美味しいです。買って下さいと言えるから」と。販売ではいつも「僕が、あんぱんのあんこ炊いてるんです。美味しいですよ!」と元気にお客さんに話しかけ、お客さんから

「偉いねー。販売上手だね。じゃ買うね。」と言ってもらっています。俊秋さんなりにもっと【お客さんにパンを買って欲しい。】【僕が頑張っている姿を見てもらいたい。】【写真を使ってお客さんにもっと説明したい。】と考えてくれた事がとても嬉しかったので早速、写真を撮り販売用と店用にポップを作成しました。出来上がったポップを見てとても嬉しそうな顔で「次はカスタードクリームを作っている写真を撮ってください」と意欲的です。

俊秋さんだけでなく他の仲間も頑張っている姿を見てもらいたいはずで、みんなの頑張りがポップにして販売や店でお客さんに見てもらおうと思っています。それによってみんなも俊秋さんが感じた達成感や次への意欲を感じてもらえたらと思います。今回の出来事で仲間の成長を感じ嬉しくなりました。これからも仲間と一緒に成長していきたいと思っています。

パン工房 丸山 知枝

## お仕事開始は【職員の元気な声かけ】から

その日職員体制が薄く、手伝いに入ったりサイクル班は活動の予定が不確で、職員の指示を待ち黙って座って待つ仲間達と、こだわりに執着するちょっと不安定な仲間がいました。きっと仲間たちは、今日は職員どうしたの?仕事は何をやるの?いつまで待つ?見通しが持てない不安…私も何をしたら良いのか分からず、とりあえず、缶作業しよう!と仲間たちに声をかけました。すると座って待っていた仲間たちがエプロンをつけ長靴をはき、手袋をつけ作業場へ。次々と自分の作業を始めていきました。活動内容を示すだけで、後は自身の持ち場について集団で作業を行うことができるのに驚きました。声をかけなかったら不穏なまま、半日何もせずに過ごすこととなったかもしれない状況を回避できてよかった。私も見様見真似で仲間に聞きながら缶作業と一緒に手伝い半日を過ごしました。次の日、和彦さんに会うと「宮崎さん、昨日は缶作業ありがとうございました!」としっかりお礼を言われてびっくり!昨日のこのお礼をきちんとと言える和彦さんの素晴らしさは、地域から苦情がある人とは思えないほどでした。昨日缶作業が出来て嬉しかったよ。大好きな仕事の時間を待っていたよ。一緒に手伝ってくれてありがとう。と言われたのかなと思感激しました。そして、見通しが持てると人はこんなに安心して変わるんだと改めてその大切さを感じました。

わくわくセンター 副管理者 宮崎 美枝

## ハスの実☆発信!! ハスの実の家よりお知らせ



### 美咲ホーム開設にあたり

【パナソニックデバイス労働組合福井支部様】より

**"衣類乾燥除湿機を寄贈"**  
していただきました。



2月22日(土) わくわくセンターにて、パナソニックデバイス労働組合福井支部様より衣類乾燥除湿機の贈呈式が行われました。美咲ホームに暮らす仲間が出席して元気に感謝の気持ちを伝えました。大切に使用させていただきます。また、仲間全員にお菓子をいただきハスの実の家全体が笑顔でいっぱいになりました。パナソニックデバイス労働組合福井支部の皆様、本当にありがとうございました。



きょうされん「2021年度報酬改定に対する緊急要望書」団体署名

## 合計 3,702 団体分を厚労省に提出



2018年4月より、障害福祉サービスにかかる報酬改定が行なわれました。その際に、特に就労系の“はたらく”分野で、就労支援継続A型事業は労働時間を基準に、就労支援継続B型事業は平均工賃を基準として報酬改定が行なわれ、障害のある人がどれだけ仕事にむかえているか？そこに支援ができていないのか？や工賃を増やす努力をしているか？などを算定の基準とする成果主義・実績主義がもちこまれるなど、障害のある人の“はたらく”が本人たちの“はたらかたい”との願いや想いに沿わないものへと変質されてしまいました。

更に3年後、2021年に次期報酬改定が行なわれますが、厚生労働省では2020年2月4日に報酬改定検討チームを始動させています。そこでは、以前からたびたび検討されている食事提供体制加算の廃止、送迎加算の廃止、グループホームでのホームヘルプ利用の廃止、生活介護事業の見直し・抑制などが含まれています。現在、様々な調査活動が行なわれており、例えば送迎加算については、「必要のない送迎を行い加算を取得している事業所がたくさんある」という結論を導き出しています。

このような動きの中で、きょうされんは、次期報酬改定に対して緊急の要望書提出を提案し、きょうされん会員だけでなく、他団体（県内では、福井県知的障害者福祉協会、福井県社会就労センター協議会など）にも協力を呼びかけました。また、同時に送迎についてや食事提供についての調査も同様に、他団体にも協力いただいて進めてきました。これらの調査で見えてきたもの（厚生労働省の調査結果では、実施している・していないに関わらず回答のあった全ての事業所が分母になっている。きょうされんの調査結果では、回答のあったものの中の実施している事業所のみが分母になっている。そのため、厚生労働省の調査結果では、必要性が少なくなるような結果が出る仕組みとなってしまう。）は、送迎については、その送迎を利用しないと事業所に通えない方がおられること、また、現在の送迎加算ではとうてい送迎車両の維持費・燃料費を賄えないということが明らかになりました。一方、食事提供については、食事の提供を行なっている多くの事業所で加算を算定しており、それを財源として調理員等を配置し、障害特性に配慮した食事内容・形態などの工夫を行なうなど、大切な栄養摂取の機会を保障し、給食が障害のある人たちの命をつないでいる実態が明らかになりました。

きょうされんは、上記の2つの調査で得られた結果をもとに、次期報酬改定に対する緊急要望書を、第一次分として2019年11月26日に、最終提出分として2020年2月12日にと2回に分けて、合計3,702カ所（うち、きょうされん加盟事業所は1,800余）から届けられた署名を厚労省障害福祉課に提出しました。福井県内からも36の事業所・団体（うち、きょうされん福井支部内の会員事業所16ヶ所）からこの緊急要望書を提出することができました。今回、他団体ともつながり要求を一致してすすめてこられたことは、とても大切な取り組みとなりました。ぜひ、このつながりと要求にもとづいた取り組みを今後も進めていきたいと考えています。

さて、今回の緊急要望書提出には、法人、各事業はもとより、ハスの実の家家族会、ハスの実の家労働組合、ハスの実の会（後援会）にもご協力をいただきました。今後とも引き続き、障害福祉施策の改善にむけて、いっそうの協働を推し進めて行きたいと準備しています。どうかよろしく願い致します。

（白崎 慶彦）





## 物品深謝

2・3月

順不同お許しください

山形屋様、エンターテイメントオメガ金津店様

\*福井県坂井市・あわら市様より マスク・消毒薬等  
多数頂きました。



## 新職員紹介

所属 ヘルパーステーションともに  
竹内八恵美さん



1月からグループホーム  
で週に2日世話をさせて  
頂いております。  
71才の私より先輩から  
孫のような若者までおら  
れます。なので話題も多  
岐にわたり、緊張しつつ  
も楽しく働いております。  
少しでも仲間のお役に  
立ちたいです。

## ご寄付深謝

2・3月

順不同お許しください

ハスの実の家

林 知恵子様、神田 芳明様、木村 亮様、ハスの実の  
家 家族会様、ハスの実の会（後援会）様 匿名様  
32,816,000 円

ハスの実の会（後援会）

今出恵勇様、木村牧子様、齊藤淳子様、塩田照子様、  
村田文彦様、山口真弓様、山本照美様、三国後援会様、  
川崎旨乃布様、辻絹江様、西村合金工業所様  
51,000 円

所属 共同生活援助事業 世話人  
富田 絹江さん



昨年9月よりヘルパーと  
して勤めています。利用  
者さんも明るくて、私も  
パワーを頂いています。  
これから、みんなの笑顔  
が、みんなの幸せにつな  
がるようお手伝いさせて  
下さい。

## 退職のお知らせ

- 西田みち子さん（世話人）
- 東 昂祐さん（支援員）

## おたよりコーナー

ハスの実だより  
楽しみに読ませ  
ていただいてお  
ります。

M・O様

後援会会員様よりご感想を  
頂きました。  
ありがとうございます。

みなさまからのご意見・ご感想を  
お待ちしております。

## ～お礼～



ハスの実だよりに同封させていただきました  
署名用紙のご記入・ご返信をたくさんの方々  
にいただき誠にありがとうございました。  
4月いっぱいまで署名を集めておりますの  
で、引き続きご協力のほどよろしくお願い申  
上げます。

## シーツ、古着等お譲り下さい!



わくわくセンターでは仲間の仕事としてウ  
エス（油拭き布）製造を行っています。  
ご家庭で使わなくなったシーツ、古着等ご  
ざいましたらぜひ、お寄せ下さい。

担当 わくわくセンター ウエス班



ハスの実だより  
あとがき



新型コロナウイルス感染症の拡大により、後援会員・読者の皆さまも日々ご苦労されていることと思います。これ以上感染がひろがらないことを願いつつ、ハスの実の家としても感染拡大防止の対策をとり、仲間・職員の安全と健康に努めていきます。

大変な状況ですが、皆さまもどうぞお気をつけ下さい。

広報部会

社会福祉法人  
ハスの実の家

- 法人本部 理事長 櫻井 康宏  
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2  
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744  
Eメール: honbu@hasunominoie.com
- ハスの実の会(後援会)事務局(法人本部内)  
Eメール: kouenkai@hasunominoie.com
- 共同生活援助事業
  - \*「のぞみ」「あおぞら」「あかつき」「ステップハウス」  
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2  
Eメール: allhasunomi@hasunominoie.com
  - \*「ハッピー」  
〒910-4134 福井県あわら市上番 40-12-4  
電話・FAX(0776)77-7282
  - \*「美咲ホーム」  
〒913-0058 福井県坂井市三国町新宿2丁目2-18  
電話・FAX(0776)97-8511
  - \*「空と海」  
〒913-0057 福井県坂井市三国町米ヶ脇1丁目4-3  
電話・FAX(0776)81-4746
  - \*「友歌里」  
〒919-0628 福井県あわら市大溝3丁目15-17 102  
電話・FAX(0776)73-3129
  - \*「はさだ」  
〒919-0621 福井県あわら市市姫3丁目14-1  
電話(0776)73-5203
- 生活介護事業
  - \*「のびのび広場」「はつらつ広場」
- 就労継続支援B型事業
  - \*「わくわくワーク」  
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-19  
電話(0776)78-7750 FAX(0776)78-7751  
Eメール: wakuwaku@hasunominoie.com
  - \*「ハスの実パン工房」  
〒919-0621 福井県あわら市市姫1丁目608-2  
電話(0776)73-7300 FAX(0776)73-7301  
Eメール: pankoubou@hasunominoie.com
- 相談支援事業所「ハスの実」  
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2  
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744  
携帯 090-8965-2347  
Eメール: hasusoudan@hasunominoie.com
- 居宅介護事業
  - \*「ハスの実ヘルパーステーション ともに」  
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2  
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744

## ハスの実 読者クイズ

今年は暖かい冬のま春になり、桜も3月中より咲き乱れ、お休みには老若男女、様々に春を謳歌されていることと思います、・・・あれさえなければ・・・ねえ。それでも恒例の

### ハスの実 読者クイズ

は中止になりません。

第5回はグループホームからの出題です。坂井市三国町新宿で2月から開設されたバリアフリー対応のグループホームの名前は

○ ○ ○ ホーム

漢字2文字か、ひらがな3もじでお答えください。

それでは○の中に入る答え(漢字でもひらがなでもOK!)を書いてどんどんど参加お待ちしております。当選確率高いですよ。



#### 応募方法

はがきかMail(honbu@hasunominoie.com)にクイズの答えと住所・氏名・連絡先を記入の上ご応募ください。締切りは5/20(当日消印)。正解者の中から抽選により3名様にハスの実の家オリジナル商品をプレゼント。ふるってご応募ください。第4回読者クイズの答えは「坂井市長」でした。ご応募いただいた方の中から大野市のMさん、あわら市のYさんに商品を発送させて頂きました。

★こちらを読み取って  
ハスの実FBに  
アクセスしてね!!

